

# PoE8M2ファームウェアバージョンアップ

## 4.30Aでの新機能ご紹介 ならびに 注意書き

明京電機株式会社  
1.0版(2025/2作成)

弊社リブーターPoE BOOT nino [PoE8M2]を平素ご利用いただき、誠にありがとうございます。  
ファームウェアを「4.30A」にバージョンアップ後、使用できる機能をご紹介します。

※1.30Aからのバージョンアップ後には「必ず初期化」していただく必要があります。

注意：書換後、ダウングレードを行うことはできません。

### 《大きな追加機能》

- ・電源管理クラウド365WEB画面で設定したスケジュールが、リブーターに設定書き込み可能となりました。(従来のPOC365サーバーからのコマンド発行によるスケジュール制御も選択可能です)

仮にリブーター側で通信途絶などが生じ、POC365サーバーに繋がらない状態でもリブーター側に書き込まれて設定されたスケジュールで確実に実行するようにできます。

★ご注意:サーバーからリブーターにスケジュール設定可能状態にしたとき、リブーター(RPCシリーズ)にそれ以前に設定されていた「全スケジュールが消去されて、サーバー側で書き込み指定したスケジュール設定が書き込まれる」仕様となっています。

また、RSCシリーズではこの「スケジュール設定書き込み機能」は対応しておりません。RSCシリーズは従来のサーバーからのコマンド発行によるスケジュール制御をご利用ください。

- ・電源管理クラウド365WEB画面からのオンラインバージョンアップに対応しました。

※電源管理クラウド365をご使用になるには、保守パックのご契約が必要となります。

《1.20Aよりも前のファームウェアをご使用のお客様》

- ・従来の「排他制御方式」に加え、「ガードタイム方式」も選択可能に。

- ・WEB画面での電源制御、仮想アウトレット制御(WoL送信)時、確認ポップアップなしに即制御実行可能に。

- ・上記の機能追加に伴い、

- メール制御、新機能のMPMP制御での電源制御を実行するには「ガードタイム方式」選択必須。
- ダイレクトWEBコマンドでの電源制御を実行するには「ガードタイム方式」ならびに「電源制御時の動作確認:なし」選択必須。

となりました。

- ・一斉電源制御に改良を加えました。

親機としてコマンド実行後の結果通知をさらに改良しました。  
「ガードタイム方式」選択時、子機側リブーターのWEB画面操作が可能になりました。

- ・PoE制御モードにAPRESIA SNMP制御モードが追加となりました。

これにより、APRESIA Systems社のGSシリーズにつきまして、SNMPによるPoE給電ポート制御が可能となります。

- ・ハートビート監視, 意図的電源OFF時, 監視による動作停止機能の実装。

ハートビートパケット送出元のPCへの電源供給を意図的にストップさせたとき, ハートビートパケットが届かなくなっても正常ととらえ, 監視による動作は実行しないようにできます。(再びハートビートパケットが届くようになると動作も働くようになります。)

- ・電源管理クラウド365に対応しました。

電源管理クラウド 365 をご使用になるには, 保守パックのご契約が必要となります。

※1.30A では電源管理クラウド 365 とは連携できなくなりました。必ず 4.30A にしてください。

※1.30A からのバージョンアップ後には「必ず初期化」していただく必要があります。

- ・SNMP TRAPの表現修正。

<https://www.meikyo.co.jp/archive/#mib> から取得できる最新の MIB ファイルをご利用ください。

## 《バージョンアップの際のご注意》

ファームウェア:1.00A~1.20Aをご利用のお客様で

「メール制御」「ダイレクトWEBコマンド」機能をご使用の方へ:

新仕様において

「メール制御」 : 「ガードタイム方式」選択必須

「ダイレクトWEBコマンド」 : 「ガードタイム方式」かつ「制御動作確認:なし」選択必須となりました。

★4.30Aにバージョンアップ後, 本書の1.と2.の設定を行ってから上記の2機能を使用なさってください。

ファームウェア:1.30Aをご利用のお客様で「サーバー連携」機能をご使用の方へ:

変数初期値変更を行う必要があるため, バージョンアップ後「必ず初期化」を行っていただく必要があります。

【初期化の方法】

- 0) 電源コードをコンセントから抜きます。
- 1) 本体前面DIPスイッチ1と3だけON(下)にします。
- 2) 電源コードをコンセントに接続し, 電源供給します。
- 3) 本体前面LINK LEDが5秒間点灯します。その間に本体前面RESETスイッチを押します。  
(LINK LEDが消灯してしまったときは0)からやり直してください。)
- 4) 初期化が成功したときはLINK LEDとACT LEDが点灯します。
- 5) 初期化後はメンテナンスモードにて「同意」するところから始まります。DIPスイッチ3だけをONにして, 192.168.10.1にアクセスしてください。

## 《変数の差異》

《1.20Aよりも前のファームウェアをご使用のお客様》

■先述の機能追加により、以下の変数がListに追加されています。

debOlControlSAEnabled  
WEBからの電源操作時, ポップアップでの確認表示有無(デフォルト:0[あり])  
debOlControlGTEnabled  
電源制御方式(0[デフォルト]:排他制御方式 1:ガードタイム方式)  
debOlControlOnGuardTime  
[ガードタイム方式時]ON/REBOOT操作後のガードタイム(デフォルト10秒)  
debOlControlOffGuardTime  
[ガードタイム方式時]OFF操作後のガードタイム(デフォルト10秒)  
centerCmdHostID  
MPMPによるコマンド制御で使用するID(3箇所設定可能)  
centerCmdPassword  
MPMPによるコマンド制御で使用するパスワード(3箇所設定可能)  
scEnabled  
サーバー制御有効化(0[デフォルト]:無効 1:有効)

【以下の変数は、APRESIA SNMP 制御モード関連】

poeSnmpAddress  
PoE 対応スイッチの IP アドレス  
poeSnmpPort  
PoE 対応スイッチの SNMP 制御用ポートアドレス(デフォルト:161,161,161,161)  
poeSnmpCommunity  
SNMP 制御用コミュニティ名(デフォルト:private)  
poeSnmpControlOidS  
給電制御用 OID(デフォルト:1.3.6.1.4.1.278.108.1.27.2.1.1.3.0)  
poeSnmpStatusOidS  
給電ステータス参照用 OID(デフォルト:1.3.6.1.4.1.278.108.1.27.2.1.1.10.0)  
poeSnmpControlOidName  
給電制御用 OID 名称(デフォルト:poePortAdminState)  
poeSnmpStatusOidName  
給電ステータス参照用 OID 名称(デフォルト:poePortStatus)  
poeSnmpPSEOnValue  
給電 ON 用設定値(デフォルト:1)  
poeSnmpPSEOffValue  
給電 OFF 用設定値(デフォルト:2)

■従来機能の改良により、以下の変数がListに追加されています。

hbHeartbeatChar  
ハートビートパケット文字列(デフォルト:HB)  
hbHeartbeatSource  
HB送出元への電源供給アウトレット番号(デフォルト:0)

■使用されていない変数のため、以下の変数をListから削除しました。

mailLogoutTime

terminalId  
httpCommandReturn  
httpCommandNo  
httpCommandSet  
httpScreen  
httpPageStart

## 《新機能詳細》

([2]以降は1.20Aよりも以前のバージョンをご利用の方への内容となります)

### [1] 【4.10Aにバージョンアップしてから】電源管理クラウド365からのオンラインバージョンアップ

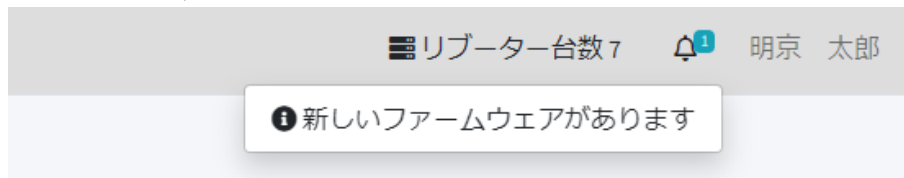
4.30Aにアップデートすることにより、次回以降のファームウェアアップデートを電源管理クラウド365から行うことができます。

注意 正常にファームウェアアップデートが完了すると、自動でリブーターのCPUリセットが行われます。  
CPUリセットに伴いアウトレットの状態は変化いたしません、イベントログが消去されます。リブーターのログが必要な場合は事前に保存してください。

アップデートが可能になると、ダッシュボードに通知が表示されます。  
通知は管理者権限ユーザーのログイン時のみ表示されます。



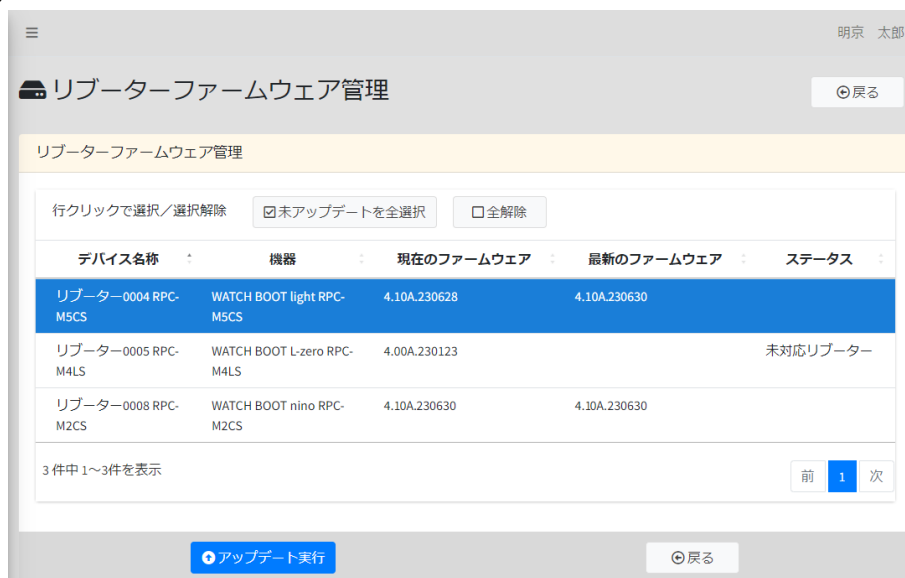
通知マークをクリックでメッセージが表示されます。  
メッセージをクリックで、アップデート画面が表示されます。



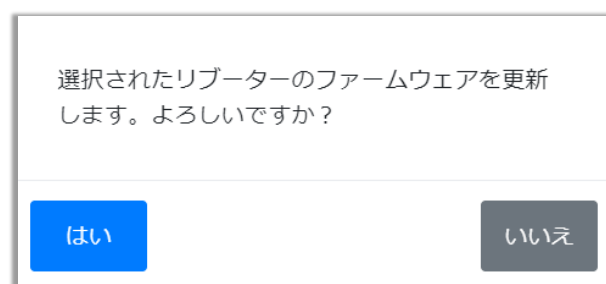
アクティベートされたリブーターが一覧で表示されます。  
アップデート可能なリブーターは赤背景で表示されます。  
ファームウェアアップデート未対応のリブーターはステータスに「未対応リブーター」と表示されます。  
未対応リブーターはリブーターのWEB画面からアップデートを行う必要があります。



アップデートを行うリブーターの行をクリックして、アクティベートするリブーターを選択します。  
[未アップデートを全選択]をクリックでアップデート可能なリブーターをすべて選択することができます。



[アップデート実行]をクリックで確認のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。



ファームウェアのアップデートが実行されます。実行中のリブーターは背景が灰色となり、ステータスが「リブーター待機中」または「アップデート中」となります。  
背景が灰色の間は、リブーターの操作を行うことはできません。

三

明京 太郎

🏠

リポーターファームウェア管理

🔄 戻る

リポーターファームウェア管理

行クリックで選択／選択解除

☒ 未アップデートを全選択

☐ 全解除

| デバイス名称              | 機器                         | 現在のファームウェア   | 最新のファームウェア   | ステータス    |
|---------------------|----------------------------|--------------|--------------|----------|
| リポーター-0004 RPC-M5CS | WATCH BOOT light RPC-M5CS  | 4.10A.230628 | 4.10A.230630 | アップデート中  |
| リポーター-0005 RPC-M4LS | WATCH BOOT L-zero RPC-M4LS | 4.00A.230123 |              | 未対応リポーター |
| リポーター-0008 RPC-M2CS | WATCH BOOT nino RPC-M2CS   | 4.10A.230630 | 4.10A.230630 |          |

3 件中 1～3件を表示

前1次

🔄 アップデート実行

🔄 戻る

リポーターのアップデートが完了すると、ステータスに「アップデート完了」と表示されます。

三

明京 太郎

🏠

リポーターファームウェア管理

🔄 戻る

リポーターファームウェア管理

行クリックで選択／選択解除

☒ 未アップデートを全選択

☐ 全解除

| デバイス名称              | 機器                         | 現在のファームウェア   | 最新のファームウェア   | ステータス    |
|---------------------|----------------------------|--------------|--------------|----------|
| リポーター-0004 RPC-M5CS | WATCH BOOT light RPC-M5CS  | 4.10A.230630 | 4.10A.230630 | アップデート完了 |
| リポーター-0005 RPC-M4LS | WATCH BOOT L-zero RPC-M4LS | 4.00A.230123 |              | 未対応リポーター |
| リポーター-0008 RPC-M2CS | WATCH BOOT nino RPC-M2CS   | 4.10A.230630 | 4.10A.230630 |          |

3 件中 1～3件を表示

前1次

🔄 アップデート実行

🔄 戻る

## [2] ガードタイム方式による多重ログイン

電源制御可能なユーザー[Admin権限, Control権限]がWEB, Telnet, メールなどでログインしている時には、他の電源制御可能なユーザーはログインできない「排他制御方式」に加え、ガードタイムを設けることで電源制御可能な複数のユーザーがログインし、制御を実行可能な「ガードタイム方式」を選択できるようになりました。(方式を切り替える際、同意を求めるポップアップが表示されます。)

IPアドレスが

PoE8M2 : 192.168.1.120  
端末A : 192.168.1.10  
端末B : 192.168.1.25 となっているとします。

### ●従来の「排他制御方式」

下の画面のように、端末AからPoE8M2のWEB画面にAdmin権限でアクセスしているとします。

The screenshot shows the web interface of the PoE8M2 device. The browser address bar indicates the URL is 192.168.1.120. The page title is '簡易状態表示' (Simple Status Display). The left sidebar contains the following buttons: PoE BOOT nino PoE8M2, 状態表示, 簡易状態表示, 詳細状態表示, イベントログ, 制御, 電源制御, PoE出力制御, PoE機器管理設定, HUB・機器設定, PoE 機器監視, 機器設定, システム設定, ネットワーク設定, CPUリセット, admin 192.168.1.10 admin, ログアウト, and 明京電機株式会社.

The main content area displays the following information:

- 機器情報** (Device Information):

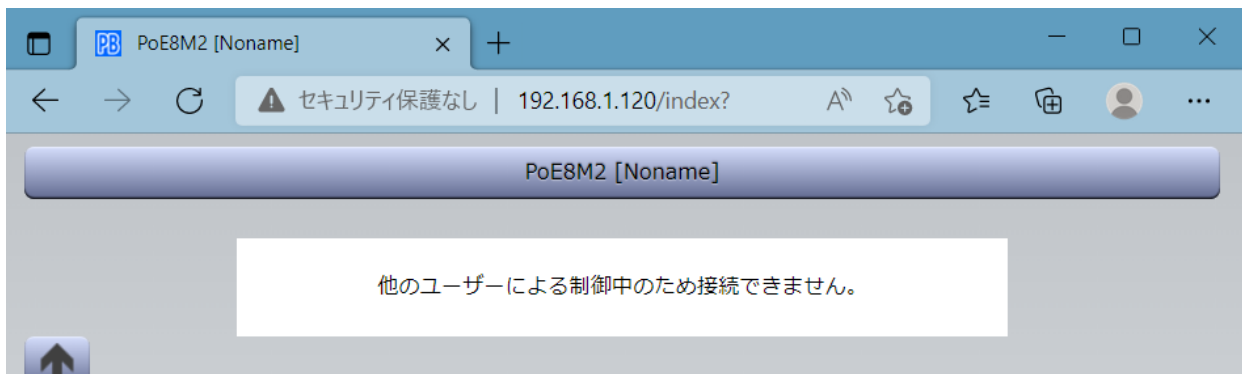
|      |         |
|------|---------|
| 機器名称 | Noname  |
| 設置場所 | Nowhere |
- PoE対象状態** (PoE Target Status):

| PoeDev1 |    |    | PoeDev2 |    |    | PoeDev3 |    |    | PoeDev4 |    |    |
|---------|----|----|---------|----|----|---------|----|----|---------|----|----|
| 1       | NA | 無効 | 2       | NA | 無効 | 3       | NA | 無効 | 4       | NA | 無効 |
| PoeDev5 |    |    | PoeDev6 |    |    | PoeDev7 |    |    | PoeDev8 |    |    |
| 5       | NA | 無効 | 6       | NA | 無効 | 7       | NA | 無効 | 8       | NA | 無効 |
- アウトレット状態** (Outlet Status):

| No. | 名称      | 設定 | 状態 | 電源 |
|-----|---------|----|----|----|
| 1   | Outlet1 |    |    | ON |
| 2   | Outlet2 |    |    | ON |

この状態で、端末BからAdmin権限でログインを試みると「排他制御方式」の場合はログインできません。





### ●新機能「ガードタイム方式」

「システム設定」-「セキュリティ」-「共通設定」-「電源制御方式」にて設定することができます。

| No. | ユーザーID               | パスワード                |
|-----|----------------------|----------------------|
| 1   | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| 2   | <input type="text"/> | <input type="text"/> |

[変更]を押下すると、同意確認画面が表示されます。

**192.168.1.120 の内容**

以下の文面をお読みになり、同意される場合にのみ電源制御方式を変更できます。【PoE8M2】

排他制御方式では多重ログインは不許可、ガードタイム方式では許可となります。ガードタイム方式の場合、他の操作者により、ご自身の意図とは異なる思わぬ動作が生じるおそれがあるため、リスクを考慮し適切なガードタイムを設定してください。

【 同意しますか？ 】

OK キャンセル

システム設定 / セキュリティ

基本設定   詳細設定   セキュリティ   フィルター

CPUリセットを実行して、設定に変更を適用する必要があります。

共通設定

電源制御方式   ガードタイム方式   変更

ON/REBOOT後, ガードタイム(秒)   10

OFF後, ガードタイム(秒)   10

[ON/REBOOT後, ガードタイム][OFF後, ガードタイム]を設定できます。

●CPUリセットが要求されるので、左サイドバーにて[CPUリセット]を押下します。

「ガードタイム方式」であれば、端末A、端末B両方からPoE8M2に多重ログインすることが可能になります。

← → ↺ セキュリティ保護なし | 192.168.1.120

PoE BOOT nino PoE8M2

状態表示   簡易状態表示   詳細状態表示   イベントログ

制御   電源制御   PoE出力制御   PoE機器管理設定   HUB・機器設定   PoE 機器監視   機器設定   システム設定   ネットワーク設定

CPUリセット

admin 192.168.1.10 admin ログアウト

明京電機株式会社

簡易状態表示

機器情報

機器名称   Noname

設置場所   Nowhere

PoeDev1   PoeDev2   1   NA   無効   2   NA   無効

PoeDev5   PoeDev6   5   NA   無効   6   NA   無効

No.   名称

1   Outlet1

2   Outlet2

PoE BOOT nino PoE8M2

状態表示   簡易状態表示   詳細状態表示   イベントログ

制御   電源制御   PoE出力制御   PoE機器管理設定   HUB・機器設定   PoE 機器監視   機器設定   システム設定

CPUリセット

admin 192.168.1.25 admin ログアウト

明京電機株式会社

簡易状態表示

機器情報

機器名称   Noname

設置場所   Nowhere

PoE対象状態

| PoeDev1     | PoeDev2     | PoeDev3     | PoeDev4     |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1   NA   無効 | 2   NA   無効 | 3   NA   無効 | 4   NA   無効 |
| PoeDev5     | PoeDev6     | PoeDev7     | PoeDev8     |
| 5   NA   無効 | 6   NA   無効 | 7   NA   無効 | 8   NA   無効 |

アウトレット状態

| No. | 名称      | 設定 | 状態 | 電源 |
|-----|---------|----|----|----|
| 1   | Outlet1 |    |    | ON |
| 2   | Outlet2 |    |    | ON |

### [3] 制御確認 2段階／即時実行の切替

電源制御, 接点制御, 仮想アウトレット制御(WoL送信)において, デフォルトでは制御ボタンを押下後「制御動作確認」のポップアップが表示され, [OK]ボタンを押下することで制御が実行されます。(ダブルアクションによる, 操作者の意図確認)

1.30Aならびに4.00Aのファームウェアでは「制御動作確認」のポップアップを表示させないように設定できるようになりました。

#### ●従来の動作確認「あり」方式

電源制御, 仮想アウトレット制御(WoL送信)で制御ボタンを押下すると, 下図のように動作確認のポップアップが表示され, [OK]押下後に制御が実行されます。

The screenshot shows the PoE8M2 Web Console interface. A confirmation dialog is displayed over the main content area. The dialog title is "192.168.1.120 の内容" and the message is "Outlet2にPower ONを行いますか?". There are "OK" and "キャンセル" buttons. The background interface includes a left sidebar with navigation buttons like "状態表示", "簡易状態表示", "詳細状態表示", "イベントログ", "制御", "電源制御", "PoE出力制御", "PoE機器管理設定", "HUB・機器設定", "PoE 機器監視", "機器設定", "システム設定", and "ネットワーク設定". The main area displays "機器情報" (Device Information) and "アウトレット情報" (Outlet Information).

| No. | 名称          | 制御            | 電源状態 |
|-----|-------------|---------------|------|
| 1   | Outlet1     | ON OFF Reboot | ON   |
| 2   | Outlet2     | ON OFF Reboot | OFF  |
|     | All Outlets | ON OFF Reboot |      |

### ●動作確認「なし」方式

「システム設定」-「基本設定」-「アウトレット設定」-「電源制御時の動作確認」で設定します。

(デフォルト値:「あり」)

この項目で「なし」を選択し、画面下部の[適用]を押下します。

**PoE BOOT nino PoE8M2**

状態表示

簡易状態表示

詳細状態表示

イベントログ

制御

電源制御

PoE出力制御

PoE機器管理設定

HUB・機器設定

PoE 機器監視

機器設定

システム設定

ネットワーク設定

監視設定

スケジュール

|   |         |    |   |   |
|---|---------|----|---|---|
| 5 | PoeDev5 | 無効 | 1 | 0 |
| 6 | PoeDev6 | 無効 | 1 | 0 |
| 7 | PoeDev7 | 無効 | 1 | 0 |
| 8 | PoeDev8 | 無効 | 1 | 0 |

**アウトレット設定**

| No. | アウトレット名称 | OFF | REBOOT | ON | START |
|-----|----------|-----|--------|----|-------|
| 1   | Outlet1  | 0   | 10     | 1  | 1     |
| 2   | Outlet2  | 0   | 10     | 2  | 2     |

全アウトレットREBOOT時間 (秒) 10

**電源制御時の動作確認** なし

OFFを「-1」にするとOFF操作を使用不可にします。  
ONを「-1」にすると全アウトレットON時に電源出力しません。  
STARTを「-1」にすると本体起動時に電源出力しません。

**アウトレット連動設定**

| No. | アウトレット連動 |
|-----|----------|
| 1   | -        |
| 2   | -        |

これにより、電源制御、仮想アウトレット制御(WoL送信)で制御ボタンを押下後、即時、その制御が実行されるようになります。

●メール, ダイレクトWEBコマンド, MPMPでの電源制御について

1.30Aならびに4.00Aのファームウェアから,

・メールによる電源制御 「ガードタイム方式」選択必須

・ダイレクトWEBコマンドによる電源制御 「ガードタイム方式」かつ「制御動作確認:なし」選択必須

・MPMPでの電源制御 「ガードタイム方式」選択必須  
となっています。

上記の方式を選択せずに実行すると

「511 Command failed. Select the appropriate mode.」

というエラーコードが表示され, 電源制御は実行されません。

## [4] 一斉電源制御

一斉電源制御の結果通知をさらに改良しました。

### ●親機として使用する場合

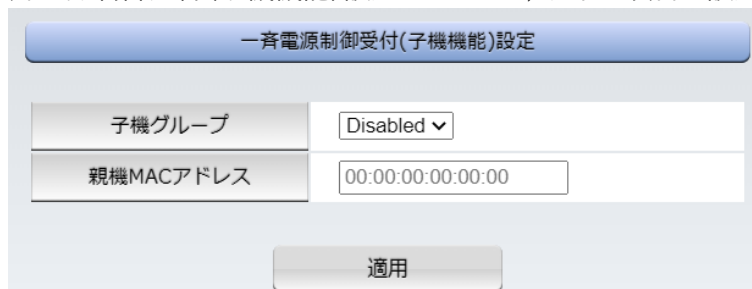
WEB画面の「電源制御」→「一斉制御」から、グループ指定・実行コマンドを指定して、「送信」クリック後、3秒待機ののちに、子機応答結果を表示するようになりました。

### ●子機として使用する場合の設定(「ガートタイム方式」選択時)

「ガートタイム方式」選択時のみ、メンテナンスモードに切り替えずにWEB画面にて設定を行うことが可能になりました。(FW:1.20A以前では、メンテナンスモードでのみ設定可能な項目でした。)

「ネットワーク設定」-「詳細設定」をクリックします。

一斉電源制御受付(子機機能)設定メニューで、以下の項目を設定できます。



子機グループ : Disabled Group1~8  
デフォルト Disabled

親機MACアドレス : 一斉電源制御コマンドが送られてくる親機のMACアドレスを入力します。  
適用をクリックし、CPUリセットを行います。

(これまでどおり、メンテナンスモードでこれらの項目を設定することもできます。)

### ●Telnetでの制御と応答

Telnetでも一斉電源制御を親機として実行できるようになりました。使用するコマンドは以下です。  
(x=1~8, xはグループ番号を示します)

BPONx : 該当グループ全アウトレットの電源出力開始  
BPOFx : 該当グループ全アウトレットの電源出力停止  
BPORx : 該当グループ全アウトレットのリブート(電源リブート)

実行の後、親機のコマンド実行結果応答に加えて、子機の応答結果が表示されます。

## [5] APRESIA SNMP制御モード

PoE 制御モードにAPRESIA SNMP 制御モードが追加となりました。

これにより、APRESIA Systems社のGSシリーズにつきまして、SNMPによる制御が可能となります。

APRESIA SNMP 制御モードを選択しますと、専用のPoE HUB設定メニューが開きます。

SNMP ポートとコミュニティ名 には、GS シリーズに対応した デフォルト値を設定しています。

(コミュニティ名は HUB1 のみ)

OID 、OID 名称、ON/OFF 用 設定値には、GS シリーズに対応したデフォルト値を設定しています。

|              |                                     |
|--------------|-------------------------------------|
| リポートOFF/ON間隔 | 10 秒                                |
| 給電制御用OID     | 1.3.6.1.4.1.278.108.1.27.2.1.1.3.0  |
| ステータス用OID    | 1.3.6.1.4.1.278.108.1.27.2.1.1.10.0 |
| 給電制御用OID名称   | poePortAdminState                   |
| ステータス用OID名称  | poePortStatus                       |
| 給電ON用設定値     | 1                                   |
| 給電OFF用設定値    | 2                                   |
| Ping制御モード    | NONE状態でも有効 ▼                        |

## [6] 意図的な電源OFF時のハートビート監視一時停止

アウトレットを(電源制御コマンドやスケジュール機能によって)意図的に「電源OFF」した際に連動してハートビート監視を一時停止できるようになりました。また、アウトレットが「電源ON」となった場合は、自動でハートビート監視を再開します。

### ●従来の一時停止なしの場合

PCなどハートビート packets 送出元の電源をリブーターに接続している場合、接続されたアウトレットの意図的な「電源OFF」(スケジュールによるOFFを含む)を行うと、そのアウトレットに接続された送出元であるPCの電源がOFFとなり、ハートビート packets の送出が止まります。その結果、TimeOut判定となるためにリブートされ、OFFを行ったアウトレットの電源がONになります。

### ●一時停止の設定

「監視設定」-「ハートビート」-「ハートビート設定」で設定します。(デフォルト値:「なし」)

「電源供給アウトレット」で、ハートビート packets 送出元を接続しているアウトレットを選択します。

選択したアウトレットの「ハートビート監視設定」の「動作」を[ON]または[Reboot]に設定します。

| ハートビート設定                |  |
|-------------------------|--|
| ハートビート                  | <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 |
| 監視IPアドレス制限<br>(空欄→全て受信) |  |
| 受信ポート                   | 9100   |
| 送信ポート                   | 9100   |
| リブート後、無監視時間(秒)          | 60   |
| ハートビート監視間隔(秒)           | 8  |
| TimeOut判定数              | 3  |
| 動作最大回数                  | 3  |
| 電源供給アウトレット              | Outlet1 ▼  |

| 監視条件設定     |  |    |          |
|------------|--|----|----------|
| ハートビート監視設定 |  |    |          |
| 1          | <table border="1"><tr><td>動作</td></tr><tr><td>Reboot ▼</td></tr></table> | 動作 | Reboot ▼ |
| 動作         |  |    |          |
| Reboot ▼   |  |    |          |

上の図では、電源供給アウトレットを「Outlet1」、ハートビート監視設定の動作を「Reboot」に設定しています。

設定された状態で、該当アウトレットがハートビート監視での動作以外で「電源OFF」となった後は、監視状態は「監視一時停止(Pause)」となり、ハートビート監視を一時停止します。('未受信カウント')もそこで停止になります)

| アウトレット状態 |         |        |       |     |
|----------|---------|--------|-------|-----|
| No.      | 名称      | 設定     | 状態    | 電源  |
| 1        | Outlet1 | ハートビート | Pause | OFF |
| 2        | Outlet2 | Ping監視 | 正常    | ON  |

そして、そのアウトレットが「電源ON」になった時にハートビート監視を再開します。



## [7]電源管理クラウド365側スケジュール設定書き込み機能

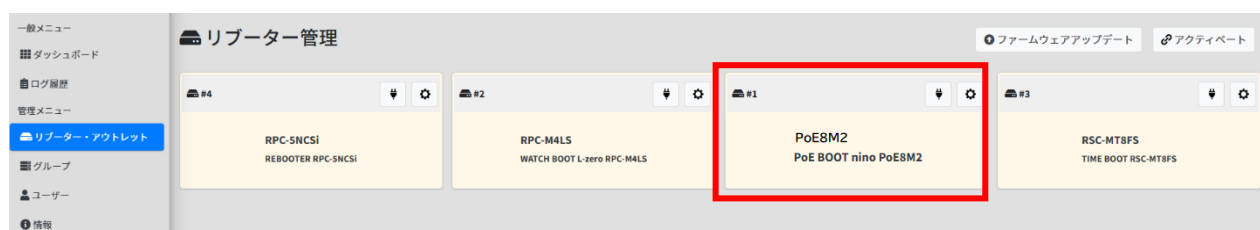
電源管理クラウド365のスケジュール登録画面から、リブーター側のスケジュール設定に書き込みをするか選択できるようになりました。

注意 (サーバー連携機能有効化にも「NTPサーバー」設定は必須のため、既に設定済みと考えられますが)スケジュール設定を使う場合はNTPサーバーの設定が必要になります。

### ●リブーターのスケジュール設定書き込み機能有効化

★こちらの設定を行うことで電源管理クラウド365WEB画面の「アウトレット」-「スケジュール」-「スケジュール追加」で「このスケジュールをリブーターに書き込み」ボタンが表示されるようになります。この機能を利用される際は、必ずリブーターごとに設定を行ってください。

電源管理クラウド365の「管理メニュー」-「リブーター・アウトレット」でスケジュール設定したいリブーターを選び、右上の歯車マークを選択します。



リブーター登録の画面で「スケジュール設定をリブーターに書き込み」を有効にし、保存します。

|   |   |
|---|---|
| <p><b>機種名</b><br/>PoE BOOT nino PoE8M2</p> <p><b>ファームウェアバージョン</b><br/>4.30A.250128.4</p> <p><b>デバイスNo.</b><br/>93</p> <p><b>デバイス名称</b><br/><input type="text" value="PoE8M2"/></p> <p><b>使用切り替え</b><br/><input checked="" type="checkbox"/> 許可</p> <p><b>スケジュール設定をリブーターに書き込み</b><br/><input checked="" type="checkbox"/> 有効</p> <p>「有効」・・・電源管理クラウド365がリブーター内部スケジュールを管理します。リブーター内部スケジュールは、電源管理クラウド365上で登録した指定スケジュールで上書きされます。<br/>「消去」・・・電源管理クラウド365によるリブーター内のスケジュール管理を中止します。電源管理クラウド365が書き込んだスケジュールをリブーター内から消去します。</p> |  <p><input type="button" value="画像URL"/></p> <p><b>デバイスメモ</b><br/><input type="text" value="メモを入力"/></p> |
|---|---|

## ●スケジュール設定書き込み機能「する」と「しない」比較

電源管理クラウド365からスケジュール登録をしたいアウトレットを選択し、「スケジュール」-「スケジュール追加」を選択し、保存します。

☒ 曜日を指定する   ☐ 日付を指定する

|   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

時間を指定

動作

有効/無効

☒ 有効

このスケジュールをリポーターに書き込み

☐ しない

「する」・・・このスケジュールはリポーター内部スケジュールに書き込まれます。このスケジュールはリポーターが実行します。

「しない」・・・このスケジュールはリポーター内部スケジュールには書き込まれません。このスケジュールは電源管理クラウド365が実行します。

|                |                 |
|----------------|-----------------|
| リブーターに書き込み「する」 | リブーターに書き込み「しない」 |
|----------------|-----------------|

### 電源管理クラウド365WEB画面

The screenshot shows the 'Write to Rebooter' option selected in the top right corner of the interface. Below it, there is a calendar view with '水' (Wednesday) selected, a clock showing '10:15', and a 'レポート' (Report) button. At the bottom, there are '編集' (Edit) and '削除' (Delete) buttons.

スケジュール設定をリブーターに書き込んだ場合、仮にスケジュールした時間に通信途絶が起こっていたとしても、リブーター内部のコマンド実行によってスケジュール機能が実行されます。

The screenshot shows the 'Execute from Server' option selected in the top right corner of the interface. Below it, there is a calendar view with '水' (Wednesday) selected, a clock showing '10:15', and a 'レポート' (Report) button. At the bottom, there are '編集' (Edit) and '削除' (Delete) buttons.

スケジュール設定をサーバーから実行の場合、サーバーから指定の時刻にコマンドを置き、スケジュール機能が実行されます。仮にその時間に通信途絶が起こっていた場合、1分以上の途絶が起こるとコマンドが自動で破棄されます。

### PoE8M2 WEB画面

| スケジュールリスト |                                     |         |    |    |    |     |
|-----------|-------------------------------------|---------|----|----|----|-----|
| No.       | 有効                                  | アウトレット  | 曜日 | 時  | 分  | 動作  |
| 1         | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット1 | 水  | 10 | 15 | ON  |
| 2         | <input type="checkbox"/>            | 全アウトレット | 全て | 0  | 0  | 無動作 |
| 3         | <input type="checkbox"/>            | 全アウトレット | 全て | 0  | 0  | 無動作 |
| 4         | <input type="checkbox"/>            | 全アウトレット | 全て | 0  | 0  | 無動作 |

リブーターに書き込まれると、PoE8M2のWEB画面でもスケジュールリストも更新されます。

| スケジュールリスト |                          |         |    |   |   |     |
|-----------|--------------------------|---------|----|---|---|-----|
| No.       | 有効                       | アウトレット  | 曜日 | 時 | 分 | 動作  |
| 1         | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 全て | 0 | 0 | 無動作 |
| 2         | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 全て | 0 | 0 | 無動作 |
| 3         | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 全て | 0 | 0 | 無動作 |
| 4         | <input type="checkbox"/> | 全アウトレット | 全て | 0 | 0 | 無動作 |

サーバーから実行のみの場合はスケジュールリストに反映されません。

### ●複数アウトレットにスケジュール設定書き込み

複数のアウトレットをグループ登録し、スケジュール設定書き込み機能をまとめて書き込むことができます。

例 電源管理クラウド365WEB画面-管理メニューの「グループ」-「グループ追加」-「アウトレット選択・選択解除」からPoE8M2のアウトレット1、3をグループに設定します。

**グループ登録** 歯 スケジュール ⌂ 戻る

---

**グループ**

グループNo.  
11

グループ名称  
グループ1

---

▼ このグループに所属するアウトレット ▼ アウトレット選択・選択解除

▼ #G11-1(#1-1)  
アウトレット0001-1

▼ #G11-2(#1-2)  
アウトレット0001-2

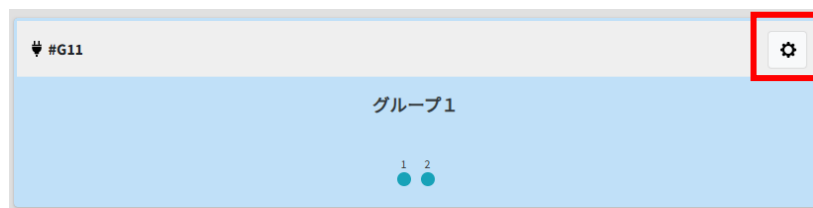
歯 保存 血 削除 ⌂ 戻る

グループのスケジュール設定をする方法は2通りあります。

①電源管理クラウド365のWEB画面-一般メニューの「ダッシュボード」から先ほど作ったグループを選択し、「スケジュール」-「スケジュール追加」で設定。



②電源管理クラウド365WEB画面-管理メニューの「グループ」から先ほど作ったグループの右上にある歯車アイコンを選択し、画面右上に出てくる「スケジュール」-「スケジュール追加」で設定。



スケジュールを以下のように設定し、「リブーターに書き込み」を有効にし、保存します。

スケジュール登録

戻る

スケジュール登録 #G6 グループ1

グループNo.

6

グループ名称

グループ1

☒ 曜日を指定する
☐ 日付を指定する

月 火 水 木 金 土 日

時間を指定

10:00

動作

リブート

有効/無効

有効

このスケジュールをリブーターに書き込み

する

「する」・・・このスケジュールはリブーター内部スケジュールに書き込まれます。このスケジュールはリブーターが実行します。

「しない」・・・このスケジュールはリブーター内部スケジュールには書き込まれません。このスケジュールは電源管理クラウド365が実行します。

保存

戻る

PoE8M2のWEB画面-「スケジュール」を見ると先ほどのスケジュール設定がアウトレット1, 3にそれぞれ書き込まれていることを確認できます。

PoE BOOT nino

PoE8M2

状態表示

簡易状態表示

詳細状態表示

イベントログ

制御

電源制御

機器設定

システム設定

ネットワーク設定

監視設定

スケジュール

システム情報

スケジュール設定

スケジュールリスト

| No. | 有効                                  | アウトレット  | 曜日 | 時  | 分 | 動作     |
|-----|-------------------------------------|---------|----|----|---|--------|
| 1   | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット1 | 月  | 10 | 0 | Reboot |
| 2   | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット1 | 火  | 10 | 0 | Reboot |
| 3   | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット1 | 水  | 10 | 0 | Reboot |
| 4   | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット1 | 木  | 10 | 0 | Reboot |
| 5   | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット1 | 金  | 10 | 0 | Reboot |
| 6   | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット2 | 月  | 10 | 0 | Reboot |
| 7   | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット2 | 火  | 10 | 0 | Reboot |
| 8   | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット2 | 水  | 10 | 0 | Reboot |
| 9   | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット2 | 木  | 10 | 0 | Reboot |
| 10  | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット2 | 金  | 10 | 0 | Reboot |
| 11  | <input type="checkbox"/>            | 全アウトレット | 全て | 0  | 0 | 無動作    |
| 12  | <input type="checkbox"/>            | 全アウトレット | 全て | 0  | 0 | 無動作    |

21

## ●複数リブーターのアウトレットにスケジュール設定書き込み

他機種のリブーターのアウトレットを個別に選択しグループを作成することで、スケジュール設定書き込み機能を複数リブーターのアウトレットに反映させることができます。

例 **PoE8M2**と**RPC-M4LS**の2台のリブーターのアウトレット1, 2をそれぞれ選択しグループを作成します。



下記のようにグループのスケジュール設定を行い、「リブーターに書き込みする」と選択します。

スケジュール登録

戻る

スケジュール登録 #G6 グループ1

グループNo.  
6

グループ名称  
グループ1

☒ 曜日を指定する

☐ 日付を指定する

月

火

水

木

金

土

日

時間を指定  
10:00

動作  
リポート

有効/無効  
有効

このスケジュールをリブーターに書き込み  
する

「する」・・・このスケジュールはリブーター内部スケジュールに書き込まれます。このスケジュールはリブーターが実行します。

「しない」・・・このスケジュールはリブーター内部スケジュールには書き込まれません。このスケジュールは電源管理クラウド365が実行します。

保存

戻る

**PoE8M2**のWEB画面-「スケジュール」を開くと、スケジュール設定がリブーターに書き込まれていることを確認できます。

| No. | 有効                                  | アウトレット  | 曜日 | 時  | 分 | 動作     |
|-----|-------------------------------------|---------|----|----|---|--------|
| 1   | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット1 | 月  | 10 | 0 | Reboot |
| 2   | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット2 | 月  | 10 | 0 | Reboot |
| 3   | <input type="checkbox"/>            | 全アウトレット | 全て | 0  | 0 | 無動作    |
| 4   | <input type="checkbox"/>            | 全アウトレット | 全て | 0  | 0 | 無動作    |

同様にRPC-M4LS側でもスケジュール設定がリブーターに書き込まれていることを確認できます。

| No. | 有効                                  | アウトレット  | 曜日 | 時  | 分 | 動作     |
|-----|-------------------------------------|---------|----|----|---|--------|
| 1   | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット1 | 月  | 10 | 0 | Reboot |
| 2   | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット2 | 月  | 10 | 0 | Reboot |
| 3   | <input type="checkbox"/>            | 全アウトレット | 全て | 0  | 0 | 無動作    |
| 4   | <input type="checkbox"/>            | 全アウトレット | 全て | 0  | 0 | 無動作    |

注意:電源管理クラウド365からスケジュール設定をリブーターに書き込むと、それまでPoE8M2のWEB画面から設定していたスケジュール設定は全て削除されます。

例 PoE8M2のWEB画面で以下のようにスケジュール設定がなされている状態とします。

| No. | 有効                                  | アウトレット  | 曜日 | 時  | 分 | 動作     |
|-----|-------------------------------------|---------|----|----|---|--------|
| 1   | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット1 | 全て | 10 | 0 | Reboot |
| 2   | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット2 | 全て | 10 | 0 | Reboot |
| 3   | <input type="checkbox"/>            | 全アウトレット | 全て | 0  | 0 | 無動作    |
| 4   | <input type="checkbox"/>            | 全アウトレット | 全て | 0  | 0 | 無動作    |
| 5   | <input type="checkbox"/>            | 全アウトレット | 全て | 0  | 0 | 無動作    |

この状態で電源管理クラウド365WEB画面からアウトレット1のみ以下のようにスケジュール設定をし直し、「リブーターに書き込み」を選択し、保存します。

☒ 曜日を指定する    ☐ 日付を指定する

月 火 水 木 金 土 日

時間を指定

動作

有効/無効  
☒ 有効

このスケジュールをリブーターに書き込み  
☒ する

「する」・・・このスケジュールはリブーター内部スケジュールに書き込まれます。このスケジュールはリブーターが実行します。  
 「しない」・・・このスケジュールはリブーター内部スケジュールには書き込まれません。このスケジュールは電源管理クラウド365が実行します。

PoE8M2のWEB画面に戻り、再度スケジュール画面を表示すると電源管理クラウド365WEB画面から設定したスケジュールに上書きされており、書き込み前のスケジュール設定は全て削除されます。

| スケジュール設定  |                                     |         |    |    |   |        |
|-----------|-------------------------------------|---------|----|----|---|--------|
| スケジュールリスト |                                     |         |    |    |   |        |
| No.       | 有効                                  | アウトレット  | 曜日 | 時  | 分 | 動作     |
| 1         | <input checked="" type="checkbox"/> | アウトレット1 | 金  | 10 | 0 | Reboot |
| 2         | <input type="checkbox"/>            | 全アウトレット | 全て | 0  | 0 | 無動作    |
| 3         | <input type="checkbox"/>            | 全アウトレット | 全て | 0  | 0 | 無動作    |
| 4         | <input type="checkbox"/>            | 全アウトレット | 全て | 0  | 0 | 無動作    |
| 5         | <input type="checkbox"/>            | 全アウトレット | 全て | 0  | 0 | 無動作    |
| 6         | <input type="checkbox"/>            | 全アウトレット | 全て | 0  | 0 | 無動作    |

以上